メーカー名：　㈱加藤製作所　　令和8年度（公社）建設荷役車両安全技術協会　不整地運搬車

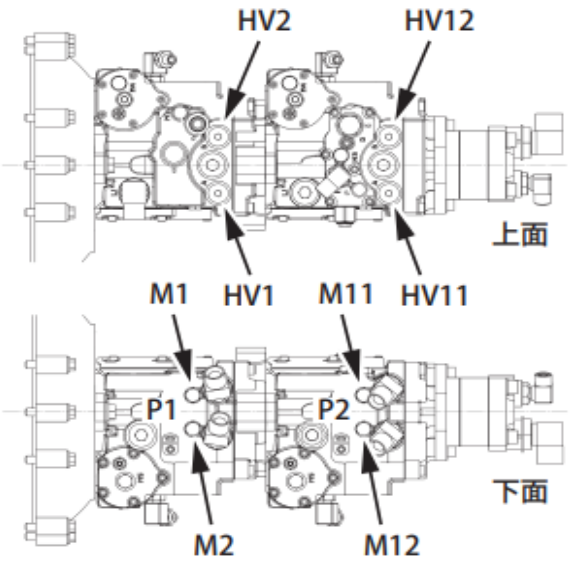
適用範囲		モデル名		IC37-5
		適用号機		CJ003001-
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドリング ローアイドリング (冷却水温) (作動油温)	 min^{-1} min^{-1} (℃) (℃)	 2900以下 1000±50
		弁すき間 吸気弁 隙間 排気弁 隙間 (測定条件)	 mm mm (℃)	 0.18~0.22 0.18~0.22 常温時
		圧縮圧力又は気筒間圧縮圧力差 MPaとkgf/cm2の両方で表記 (冷却水温) (回転速度)	MPa kg/cm2 (℃) (rpm)	2.95~3.23 30.1~32.9 290
	燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	MPa kg/cm2	コモンレール
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件] kgとNの両方で表記	mm (kg) N	7 ~9 10 98
動力伝達装置	クラッチ 駆動用ベルト	クラッチの遊び 駆動ベルトの張り	mm たわみ量 mm	−
	クラッチペダル又はインチングペダル	ペダルの遊び取り付け高さ ペダルの遊びとストローク ペダルの全ストローク	mm mm mm	−
走行装置 (別名クローラーベルト)	走行性能	最高速度　　ゴム	秒/ 6 m	2.2±0.3
	履帯 (クローラベルト)	ゴムベルト　　張り (たわみ量) [測定方法・条件(図面番号表示)]	mm	20~30mm
走行装置 (ホイール式に限る)	タイヤ空気圧　タイヤ （ホイールを含む）	フロント	kPa (kgf/cm^2)	
		リヤ	kPa (kgf/cm^2)	
制動装置	走行ブレーキ	ペダルの遊び	mm	
		踏み残り代	mm	
		制動能力 [制動初速度]	m以内 km/h	
	駐車ブレーキ	停止可能勾配 [負荷状態]		15°
油圧装置	シリンダ自然伸縮 (自然沈下量)	ダンプシリンダ 作業装置姿勢 (測定時間) (作動油温)	mm min (℃)	15以下 縮み量 10 (50±5)
	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力 性能測定条件 (設定モード等)	MPa kgf/cm2	34.5 352 ハイアイドル 別紙参照

メーカー名：㈱加藤製作所

測定方法

エンジン回転数：最高回転
油温：50 ±5℃
油圧ゲージ：49 MPa
コネクタ部品番号：D06028600
カップリング部品番号：100-52.000（0754142UA）
O リング部品番号：076031906
（必要に応じて入手してください。）

1. エンジンを停止し、油圧ポンプのゲージポートのプラグを取り外し、油圧ゲージを取り付けます。
   取付け位置
   前進：P1 ポンプの M2、P2 ポンプの M12
   後進：P1 ポンプの M1、P2 ポンプの M11
   （オペレータシートの向きが前進姿勢の場合）
   油圧ゲージが 1 個の場合は、測定調整の都度、油圧ゲージを付け替えてください。
2. パーキングスイッチの P 側を押し、パーキングブレーキを掛けてください。【右記を必ず行うこと】
3. エンジンを始動し、エンジン回転数を最高回転まで上げます。ジョイスティックレバーを前進または後進にゆっくり入れ、保持します。
4. 油圧ゲージを読みます。もし圧力が 34.5MPa 以下の場合は、走行リリーフバルブの交換が必要です。B3-01 油圧ポンプの分解・調整を参照ください。
5. エンジンを止め、油圧ゲージを取り外し、ゲージポートのプラグを取り付けます。



危険

調整作業中は、走行が絶対しないように安全に注意してください。

1. スプロケットとシューの間に鉄棒を噛ませ走行をロックします。
2. パーキングスイッチの P 側を押しパーキングブレーキを掛けてください。作業中は絶対に解除しないでください。
3. エンジンを始動し、ジョイスティックレバーを操作し、走行が確実にロックしていることを確認してください。

メーカー名：㈱加藤製作所

項目	測定方法
クローラベルト測定方法	1. キャリアを平坦で堅い地盤に置いてください。 2. アイドルタンブラ (1) とアッパローラ (2) のゴムクローラ上に、長さが約 1.5 m の角材を渡し、人（60 kg）を中央部に乗せたときのスキマを点検してください。 スキマ a は、10 ～ 20 mm が適正の張りです。 